

設計図書等に対する質問回答(令和6年7月22日大型公告分)

令和6年7月22日大型公告分の案件について(お知らせ)

**(重要)【低入札基準価格及び固定型最低制限価格の算定式の改正について】**

平成30年7月1日から固定型最低制限価格の算定式を改正しています。改正の内容については、明石市ホームページに掲載していますのでご参照願います。

(URL : [http://www.city.akashi.lg.jp/zaimu/keiyaku\\_ka/documents/20180701-teinyuusatuchousakijyunnkakaku-koteigatasaiteseigennkakaku.pdf](http://www.city.akashi.lg.jp/zaimu/keiyaku_ka/documents/20180701-teinyuusatuchousakijyunnkakaku-koteigatasaiteseigennkakaku.pdf))

工事名	明石市役所新庁舎建設工事
-----	--------------

	質問内容	資料名及びページ番号
	(共通)	
1.	液状化抑止用地盤改良柱内に構台支持杭を配置しても問題ないと考えますがよろしいでしょうか。(構台支持杭の根固め配合は地盤改良柱の設計強度 1600kN/m <sup>2</sup> 以上とします)	A231、B13
回答	構台支持杭については、液状化抑止用地盤改良柱と干渉しない位置で計画してください。 なお、A231 図は、地盤改良柱との干渉を避けた位置で構台支持杭を計画した参考図として記載しています。	
2.	南東、南西のコーナー部に張り出し足場があり、コーナー部以外の南面は枠組み足場+朝顔となっています。なぜコーナー部のみ張り出し足場なのでしょう？基準階を無足場工法で計画し張り出し足場を無し(朝顔は設置)としてもよろしいでしょうか。	A223
回答	南東、南西角については、下部を車路及び歩道として利用しながら工事を行う必要があるため、安全対策の観点から、張り出し足場を設置する計画としています。 なお、仮設計画の変更については、安全性について十分検討の上、市や工事監理者等と協議の上決定してください。	

3.	ボーリング調査位置図に既往No.1～既往No.6 の記載がありますが土質柱状図の添付がありません。既往柱状図データを開示いただけませんか。	B09～12
回答	別紙1のとおりです。	
4.	躯体補強等を行える前提で、1F 床上に工事車両を乗り入れる計画としてもよろしいでしょうか。	—
回答	乗り入れの可否については、工事開始後、工事車両の仕様や構造への影響等を確認し、市や工事監理者、設計者等と協議の上判断します。	
5.	再度の入札について、予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないときは直ちに再度入札を1回行い、その結果落札者がいないときは不落随契に入ることもあるのででしょうか。	入札のしおり
回答	再度入札については、総合評価方式（郵便方式）では実施しておりません。また、不落随契についても原則、実施しておりません。	
6.	STEP1 及び2 の履行期間は令和9年12月10日まで、STEP3-1 及び3-2 の履行期間は令和9年12月中旬からとなっておりますが、STEP2 の検査日程および引越しの期間について令和9年12月10日から中旬までを標準と考えてよろしいでしょうか。 その場合、A203 図の南側にある南会議室棟、議会棟、事務棟、窓口棟等を含めた全ての引越し期間と考えてよろしいでしょうか。	入札説明書 P2 A202、A203
回答	STEP2 の完成検査については、工事完成（工事完成届提出）後、14 日以内に受検してください。 既存庁舎から新庁舎への移転や供用開始（仮使用）までの具体的なスケジュールは未定ですが、現時点では、引渡しを受けた後、別途工事や備品設置、移転（A203 図の STEP3-1 で記載の解体建物から先行移転）を行い、順次供用開始（仮使用）する予定です。 なお、現庁舎の解体着手時期については、工事契約後、市と協議の上決定してください。	
7.	提案では引越しの期間について、令和9年12月10日から順次引越し開始とし、12月中旬より引越し完了した建屋から順次解体工事を着手、令和10年1月31日までに南会議室棟議会棟、事務棟、窓口棟等を含めた全ての引越しが完了する計画としていますがよろしいでしょうか。	A202、A203
回答	No.6 に対する回答のとおりです。	
8.	STEP3 における解体工程ですが、事務所棟・議会棟解体・窓口棟・ブリッジ解体・分庁舎解体・西庁舎解体・その他棟解体等の各棟解体が重複しているため工程を前後に割り振り、解体材搬出の平準化を含めた最適工程で提案したく考えておりますが、建物の引越し及び運営上支障等はございますか。 諸条件等がございましたらご指示願います。	A203
回答	STEP3 における解体については、STEP3-1 で図示（解体建物、外構撤去範囲）する範囲を先行解体後、STEP3-2 で図示する範囲を解体することとし、最適工程については、STEP3-1、STEP3-2 それぞれの解体範囲内において提案してください。 なお、STEP3-1 の解体工程（解体順）については、現庁舎から新庁舎への移転の	

	進捗に応じて、市と協議の上決定してください。 また、STEP3-2の解体工程（解体順）については、具体的な条件はありませんが、解体順の工夫により車いす使用者用駐車場や車寄せスペースを確保するなど、新庁舎仮使用中において、来庁者等の利便性や安全性が向上する提案についても検討し、市と協議の上決定してください。	
	(解体)	
9.	石綿含有建材の事前調査について石綿事前調査報告書に記載されているのも以外に調査分析によって新たに発見された際は別途工事と考えてよろしいでしょうか	総合解体特記仕様書 (1)
回答	工事着手後の調査により新たなアスベストが発見された場合は、市と協議により設計変更の対象とし、本工事において撤去してください。	
10.	解体工事の仮設工事で外部足場は防音シート張りと考えてよろしいでしょうか	工事仕様書 内訳書
回答	貴見のとおりです。	
11.	杭撤去に伴う埋戻しに使用するセメントミルクの配合率をご教示下さい。	総合解体特記仕様書 (1)
回答	セメントミルクの配合率については、所定の品質を確保できるよう、工事契約後の協議により決定しますが、現時点では 150kg/m <sup>3</sup> を目安と考えてください。	
12.	石綿含有仕上げ塗材の除去工法について特記仕様書記載の工法を用いる場合に於いても⑥記載のメーカー以外を選択してもよろしいでしょうか	総合解体特記仕様書 (2) 追加特記
回答	特記仕様書記載の工法を用いる場合については、原則、GEN21 図及び GEN27 図に記載のメーカーから選択してください。その他のメーカーを選択する場合は、実績等が確認できる資料を提出し、市や工事監理者、設計者等と協議の上決定します。	
	(構造)	
13.	免震装置上部 RC 柱躯体のフープ筋の配筋要領が B-38 図と B-48 図で食い違っています。B-38 図リストを正として、宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-38 B-48
回答	B-48 図を正としてください。	
14.	鉄骨柱廻りの補強は合成スラブのみに必要とし、フラットデッキ範囲には不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-41
回答	貴見のとおりです。	
15.	A-122 図に記載されているハイトライトの配筋要領は B-64 図のハ小屋に倣うものと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-122 B-64
回答	貴見のとおりです。	
16.	A-124 図に記載の 3 階～5 階バルコニー腰壁は B-41 図 W15 に倣うものと考えて、宜	A-124

	しいでしょうか。御指示下さい。	B-41
回答	貴見のとおりです。	
17.	B-41 図壁の斜め補強にワイメッシュとありますが、使用箇所が不明です。本工事において、無いものと考えて宜しいでしょうか。異なる場合、使用箇所を御指示下さい。	B-41
回答	貴見のとおりです。	
18.	免震装置 B P L 下充填性施工前試験は 2000*2000 1 か所と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-32
回答	貴見のとおりです。	
19.	免震工事において、けがき式変位計は 2 か所と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-33
回答	貴見のとおりです。	
20.	質疑回答-43 に梁貫通補強は【H 型配筋にて補強とする】とありますが、B-05 図には H7 までしか記載がありません。御指示下さい。	質疑回答-43 B-05 B-55～56
回答	H8～H18 については別紙 2 のとおりとしてください。	
21.	コンクリート工事において、地上部 1F に $F_c=33$ S-18 453 $m^3$ の記載がありますが、こちらは該当場所が不明です。御指示下さい。	工事費内訳書 P-83,84
回答	ご質問の 453 $m^3$ については、2F 床版も含めた数量となっており、1 階床版を $F_c=33$ S-18 34.7 $m^3$ とし、2F 床版を $F_c=24$ S-18 418.3 $m^3$ として見込んでください。	
22.	高炉接面戸 B 種の適用箇所は免震下部躯体→免震材料下部フーチングと読み替えて、宜しいでしょうか。異なる場合、適用箇所を具体的に御指示下さい。	GEN-13
回答	高炉接面戸 B 種は、免震材料よりも下部の躯体（マスコンクリート部分を除く）に適用してください。	
23.	柱フープ筋の配筋要領が B-30,38 図のリストと B-48 図の詳細図で食い違ってます。B-30,38 図のリストを正として、宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-30,38,48
回答	B-48 図を正としてください。	
24.	基礎及び地中梁の鉄筋材料について、溶融亜鉛メッキ処理の指示がありますが、D13・16 の細物については、メッキ処理時の曲げ歪などにより施工時の品質が確保できない恐れがありますので、エポキシ樹脂塗装処理とさせて頂けませんでしょうか。	B30・31
回答	設計図書のとおり、溶融亜鉛メッキ鉄筋とし、必要に応じて施工前試験を行い、品質が確保できることを確認してください。	
	(外部仕上)	

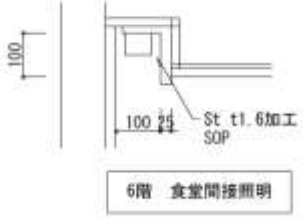
25.	サイン OS-03b エントランス施設名称サインが数量表は1・2工区で3ヶ所ですが、キプランは4ヶ所と相違しています。4ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-181
回答	貴見のとおりです。	
26.	光庭(中庭)の排水溝巾が、外部仕上表はW=250、部分詳細図(4)・(5)はW=300と相違しています。W=300を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23 A-123 A-124
回答	貴見のとおりです。	
27.	部分詳細図(3) 屋外機械基礎からW=600の範囲に伸縮目地の記載があります。平面図に記載がありませんが、見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-08 A-122
回答	貴見のとおりです。	
28.	外部仕上表 外周部屋根の軒先がアルミフラットバーですが、部分詳細図(1)はアルミパネル t=2.0と相違しています。後者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23 A-120
回答	貴見のとおりです。	
29.	建築工事特記仕様書(6) 金属工事 金属成形板張りの裏打仕様 グラウト t=3 は、目隠し壁以外のアルミ笠木、南・西面 6F 壁、展望テラス柱型、光庭梁型、7F 庇見付、1F 軒天のアルミパネルに見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-17
回答	外部と内部の温度差の発生が見込まれる部位として、アルミ笠木、7F 庇周りで見込んでください。	
30.	部分詳細図(4) 屋外階段・塔屋 EVホール階段の屋外階段詳細図で鉄部は特記なき限り、溶融亜鉛アルミ合金メッキとすると記載がありますが、建築工事特記仕様書(6) 金属工事で屋外塗装下地は電気亜鉛メッキの為、電気亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-17 A-123
回答	溶融亜鉛アルミ合金メッキを見込んでください。	
31.	屋上基礎の笠木が、仕上表(共通事項)の外部仕上げはアルミ笠木、部分詳細図(3) 屋外機械基礎はウレタン塗膜防水と相違しています。後者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-22 A-122
回答	貴見のとおりです。	
32.	受水槽廻りの押出成形セメント版の取付方法は二次防水工法(ニューセーフティール工法)を採用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-14 A-167
回答	二次防水工法は不要としてください。	
33.	受水槽廻りの押出成形セメント版の出隅部は、45度切断コーナー加工を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-167
回答	貴見のとおりです。	
34.	受水槽廻りの押出成形セメント版 エンボス加工の断面詳細がありましたら御指示下さい。	A-167
回答	ノザワ ロックエンボス はつり柄同等品としてください。	

35.	下記のメーカー品番がありましたら御指示下さい。 ■設備置場 防音パネル	A-211
回答	ABC 商会 イーウール防音パネル FS 同等品としてください。	
	(内部仕上)	
36.	層間塞ぎにおいて、矩計図より 1-2F 間の四周と X4-Y3 の 3F からのボイラー室の四周のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-70
回答	貴見のとおりです。	
37.	層間塞ぎにおいて、矩計図より層間塞ぎのサイズが W120 と W130 の 2 種類ありますが、矩計図に記載の W120 は EV ホール間のみと考え、その他は W130 と考えて宜しいでしょうか。仕様と合わせて御指示下さい。	A-68
回答	層間塞ぎの仕様はロックウール充填とし、2F の Y 1、Y 5 通りを W130 とし、その他は W120 としてください。	
38.	議場屋根・塔屋屋根のパラペット廻りのロックウール充填において、議場屋根は X 方向、塔屋屋根は Y 方向のロックウール充填サイズが不明です。W175*H100 と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、図示にて御指示下さい。	A-121
回答	議場屋根・塔屋屋根の X 8、Y 5 通りは W175×H100、その他は W75×H100 で見込んでください。	
39.	誰でもトイレにおいて、鏡は他のトイレと同等の TOTO YMK53KBR として考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、参考メーカー品番を御指示下さい。	A-24
回答	W450×H1000 の壁付け鏡（厚み 5mm ステンレス枠）を見込んでください。	
40.	多機能トイレにおいて、仕上表備考に記載のおむつ交換台、フック、姿見以外は全てトイレパック及び設備工事として考えて宜しいでしょうか。その他、建築工事がある場合は参考メーカー品番も合わせて御指示下さい。	A-26
回答	おむつ交換台、フック、姿見、小物棚が建築工事。小物棚は TOTO YKH402R 同等品としてください。	
41.	SK において、モップ掛けの参考メーカー品番を御指示下さい。	
回答	TOTO UTR422S 同等品としてください。	
42.	SK において、メーカー品番リストにモップ掛けパネルがありますが、モップ掛けを設置する箇所に 1ヶ所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-21
回答	貴見のとおりです。	
43.	階段室 1・2 鉄骨階段の蹴込の仕上ですが、SOP 塗で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-72
回答	貴見のとおりです。	
44.	階段室 1 外建面(ACW1-6)に手摺支柱(□-40*40*2.3)の図示がありますが、設置数が不明です。2 本程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-72
回答	貴見のとおりです。	

45.	階段室 1 外壁面にスチールパネ t1.6 加工・SOP の記載がありますが、具体的な施工範囲が不明です。御指示下さい。	A-71
回答	<p>下図の赤線の範囲としてください。</p>	
46.	階段室 1・2 鉄骨階段裏の二重天井ですが、踊場の揚裏だけではなく、段裏にも二重天井を施工と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-71 A-73
回答	踊場のみ天井を見込んでください。	
47.	TV 天井吊り補強ですが、具体的な設置位置が不明な為、高さが不明です。高さ毎に設置数を御指示下さい。	A-127
回答	<p>設置位置については電気設備図面を参照してください。設置数と高さについては以下のとおりです (TV の設置高さは共通で TV 下端を FL+2000)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 階 (15 か所) : 階高 5000 天井高さ 3200</li> <li>2 階 (15 か所) : 階高 5000 天井高さ 3000</li> <li>3 階 (5 か所) : 階高 4300 天井高さ 2700</li> <li>4 階 (5 か所) : 階高 4300 天井高さ 2700</li> <li>5 階 (5 か所) : 階高 4300 天井高さ 2700</li> <li>6 階 (5 か所) : 階高 4600 天井高さ 3000</li> </ul>	
48.	建築工事特記仕様書(6)より、軽量鉄骨天井下地に・コンピューター関連室は電気垂鉛メッキにウイルス対策を行う。との記載がありますが、具体的な施工室(部屋名)を御指示下さい。	GEN-17

回答	建築工事特記仕様(6)記載の「ウイルス対策」については「ウィスカ対策」と読み替えることとし、電気室サーバー室のOAフロア下地でウィスカ対策を見込んでください(天井下地のウィスカ対策は不要)。	
49.	固定防煙垂壁の参考メーカー・品番がメーカー品番リストと部分詳細図(8)で相違しております。部分詳細図(8)に記載の参考メーカー・品番を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-21 A-127
回答	貴見のとおりです。	
50.	仕上表 5F 委員会室 1-2 は平面図の会議室 LL 兼委員会室 1・2 が該当するものと考えて宜しいでしょうか。また、仕上表備考欄の移動間仕切とロールスクリーンは建具キープランや天井伏図に記載がありませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-27 A-31 A-83
回答	委員会室 1-2 はX 2-3 通り、Y 4-5 通りの部屋を示しており、移動間仕切及びロールスクリーンの設置が必要な部屋として見込んでいます。	
51.	仕上表 5F 女子更衣室のブラインドボックス欄が摘要になっていますが、女子更衣室の外壁面にサッシがありません。ブラインドボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27 A-31
回答	貴見のとおりです。	
52.	仕上表 5F 各課倉庫 1・2 及び各課書庫 1 のブラインドボックス欄が摘要になっていますが、内部屋で外壁サッシがありません。ブラインドボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27 A-31
回答	貴見のとおりです。。	
53.	仕上表 5F 中央監視室のブラインドボックス欄が摘要になっていますが、内部屋で外壁サッシがありません。ブラインドボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27 A-31
回答	貴見のとおりです。	
54.	仕上表 5F 電気室で床 OA フロア下の RC 面が塗床とありますが、他室に倣い防塵塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27 A-69
回答	弾性ウレタン樹脂系塗床 (ABC 商会カラートップ U 同等品) としてください。	
55.	5F 電気室に設備基礎があり、部分詳細図の屋内基礎に仕上は床仕上と同じとありますが、電気室の床仕上はコンポジションビニル床タイルです。電気室の設備基礎仕上は合成樹脂塗床とするものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27 A-83 A-125
回答	弾性ウレタン樹脂系塗床 (ABC 商会カラートップ U 同等品) としてください。	
56.	天井グラスウールマットの比重は壁に倣い 24 kg/m <sup>3</sup> と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27 A-126
回答	貴見のとおりです。	
57.	5F 発電機室に防油堤があり、仕上表の備考欄に H=350 2500*4000 とありますが、平面詳細図では H=400 で 2200*2200 程度になっており相違します。また、部分	A-27 A-83



	詳細図の防油提詳細図ではH=200 (FL+400)になっています。平面詳細図と部分詳細図を正とし、2200*2200 程度でH=200 (FL+400)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-125
回答	貴見のとおりです。	
58.	防油提内の塗膜防水はウレタン系防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-15 A-83 A-125
回答	塗膜防水 X-2 工法で見込んでください。	
59.	仕上表 6F 多目的スペース(飲食スペース)の備考欄にビドゥーチャールルの記載がありますが、天井伏図では飲食スペースにビドゥーチャールルの記載はありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-28
回答	貴見のとおりです。	
60.	6F 会議室兼議場倉庫で仕上表のブラインドボックス欄が摘要になっていませんが、天井伏図ではブラインドボックスがあり相違します。ブラインド詳細図で 6F 会議室兼議場倉庫にはブラインドは無いのでブラインドボックスも不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-28 A-115
回答	ブラインドボックス、ブラインド共に必要としてください。	
61.	6F 食堂の天井で、厨房廻りに下り天井があり、取合いに間接照明がありますが、詳細が不明です。下り天井及び間接照明の詳細を御指示下さい。	A-20 A-28 A-107
回答	以下の仕様としてください。 	
62.	仕上表 6F 厨房トレのブラインドボックス欄が摘要になっていますが、内部屋で外壁サッシがありません。ブラインドボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-28
回答	貴見のとおりです。	
63.	6F 厨房トレの天井仕上で、仕上表は GB-NC(T)とありますが、天井伏図では GB-R12.5+FK6.0+EP-G になっており相違します。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-28
回答	天井伏図を正としてください。	
64.	6F 会議室 S5 の光庭面サッシ ADW6-1 面で、天井伏図でブラインドボックスを設置する様になっていますが、会議室 S5 の天井高 CH=2700 に対して ADW6-1 の高さが H=3000 で納まりが不明です。光庭面に H=300 の折上天井を設置するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-28 A-85 A-63

回答	貴見のとおりです。	
65.	仕上表 6F 会議室 LL3 のブラインドボックス欄が摘要になっていますが、内部屋で外壁カッパがありません。ブラインドボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-28
回答	貴見のとおりです。	
66.	6F 食堂の洗面カウンター上部鏡の寸法で、意匠図は W450*H1000 とありますが、参考内訳書では W550*H850 になっており相違します。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-107 A-128
回答	貴見のとおりです。	
67.	軽量鉄骨天井下地について、天井耐震補強は、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、範囲・仕様を御指示下さい。	
回答	不要としてください。 なお、天井内の懐高さ 1500mm を超える部分については A21 図の補強を見込んでください。	
68.	6F 議場の壁埋込消火器ボックスの数量について、平面図では 2ヶ所、議場詳細図でも 2ヶ所ですが、配置が異なっています(X5 通り側の位置)。どちらにせよ、この部屋は壁埋込消火器ボックス 2ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
回答	貴見のとおりです。	
69.	誘導点字ブロックについて、部分詳細図より、材質は、タイル・タイルカーペットは、SUS 製、それ以外は、樹脂製となっています。今回フローリング仕上がり出てきますが、この場合は、SUS 製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
回答	貴見のとおりです。	
70.	6F 誘導点字ブロックの範囲について、平面図と平面詳細図で範囲の相違があります。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
回答	貴見のとおりです。	
71.	参考内訳の左官工事に、保護モルタル(床・立上り)があります。見込んでいる範囲が不明です。御指示下さい。	
回答	6F 厨房の防水床下がり部の床面・立上り面の塗膜防水部分を見込んでください。	
72.	下記のメーカー・品番ありましたら、御指示下さい。 <input type="checkbox"/> マシン化粧板 <input type="checkbox"/> 耐火遮音間仕切 WS2	
回答	下記のとおりとしてください。 <input type="checkbox"/> マシン化粧板 アイカ セラール 同等品 <input type="checkbox"/> 耐火遮音間仕切 WS2 吉野石膏 A-2000・W1 同等品	
73.	メーカー品番リストにて、下記項目がありますが、設置範囲が不明です。無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	

	<input type="checkbox"/> ケ酸質系塗膜防水 <input type="checkbox"/> アカ ジョリパット	
回答	<p>下記のとおりとしてください。</p> <input type="checkbox"/> ケ酸質系塗膜防水 該当箇所なし <input type="checkbox"/> アカ ジョリパット 6F 議場の多目的スペース側の壁「塗り壁仕上」箇所	
	(建具)	
74.	建具姿図(4) ACW1-3(北面)の姿図にバックボート ケカル t35 EP の指示がありますが、凡例では耐火ボート t35 EP で相違しています。凡例を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A50
回答	貴見のとおりです。	
75.	建具姿図(5) ACW1-4 の姿図にバックボート 耐火ボート t6 EP の指示がありますが、凡例では耐火ボート t35 EP で相違しています。凡例を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A50
回答	貴見のとおりです。	
76.	6階建具キープラン 食堂～厨房間にSG6-1(ガリ)の記載がありますが、該当部はカウンターとなっていますが、建具キープラン・建具表通りガリが必要でしょうか。御指示下さい。	A31 A43 A126
回答	建具キープラン・建具表のとおりとし、該当部はA107図を参照してください。	
77.	参考内訳書 P219 に建具枠周囲ロックウール充填 22.8m がありますが、該当箇所・建具が不明です。御指示下さい。	参考内訳書 P219
回答	建具枠周囲のロックウール充填については、SD1-6、SD5-10、SD6-4に見込んでください。	
	(外構)	
78.	外構詳細図(4)のBW-1(ベンチウォール-1)及びBW-2(ベンチウォール-2)に於いて、側面青竜山石の厚さは引き出し線でt40とありますが、図中寸法線の表示よりt20と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A163
回答	t40を正としてください。	
	(電気)	
79.	キュービクルは、指定色塗装で宜しいでしょうか。御指示ください。	E02
回答	メーカー標準色で可とします。	
80.	ケーブルラック耐震架台は、A種耐震支持として宜しいでしょうか。御指示ください。	E03 他
回答	公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に記載のとおりとしてください。	

81.	太陽光発電設備のパワーコンディショナー、接続箱等の函体は指定色塗装で宜しいでしょうか。御指示ください。	E11
回答	メーカー標準色で可とします。	
82.	直流電源装置は、指定色塗装で宜しいでしょうか。御指示ください。	E14
回答	メーカー標準色で可とします。	
83.	中央監視設備の制御盤及びRS 盤は指定色塗装で宜しいでしょうか。御指示ください。	E24
回答	メーカー標準色で可とします。	
84.	動力盤・電灯盤において、指定色と記載されていない盤は、標準色で宜しいでしょうか。御指示ください。	E30～34, 43～52
回答	貴見のとおりです。	
85.	屋外の土工費については、路面はつり等は無いもの考え宜しいでしょうか、御指示お願い致します。	E01
回答	貴見のとおりです。	
86.	土木工事において、残土場内敷き均しで宜しいでしょうか。御指示ください。	E01
回答	場外搬出处分としてください。	
87.	庁舎電気室の受変電設備において、内訳書及び電気室平面図に切替盤がありますが、結線図ブロック図が無い為、詳細内容がわかりません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E02～06
回答	不要とします。	
88.	キュービクル・盤図において、(EM)エネルギーモニター機器がプロットされていますが、システム内容が記載されていない為、詳細内容が分からない為、見積出来ません。エネルギーモニターのシステム詳細内容を御指示ください。	E05, 06, 29～34, 43～52
回答	図面に記載のEMは、電力量メーター（パルス発振装置付）を示し、出力パルスについては中央監視設備に入力してください。	
89.	照明器具数量において、内訳書と図面記載数量と差異があります。どちらを正とすれば宜しいでしょうか。御指示ください。	E01, 67～83
回答	平面図を正としてください。	
90.	指定色ゾーニングエリア内の配線器具の指定色ですが、どのメーカーも指定色対応出来ないとの回答です。現場塗装でも宜しいでしょうか。御指示ください。	E18
回答	現場塗装で可とします。	
91.	指定色ゾーニングエリア内の機器ですが、防災設備の光警報機器の指定色については、対応出来るメーカー1社に限られます。また、現場塗装は消防認定不可になる為、他メーカーは使えません。指定色対応必要でしょうか、御指示くだ	E18

	さい。	
回答	指定色塗装は不要とし、メーカー標準色で可とします。	
92.	TEL 設備において、内訳数量と平面図に差異がありますが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E93～130
回答	平面図を正としてください。	
93.	情報通信設備において、内訳数量と平面図に差異がありますが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E93～130
回答	平面図を正としてください。	
94.	拡声設備において、内訳数量と平面図に差異がありますが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E93～130
回答	平面図を正としてください。	
95.	誘導支援設備（非常呼出・緊急通報）において、内訳数量と平面図に差異がありますが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E93～130
回答	平面図を正としてください。	
96.	誘導支援設備（音声案内システム）において、内訳数量と平面図に差異がありますが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E93～130
回答	内訳数量を正としてください。	
97.	テレビ受信設備において、内訳数量と平面図に差異がありますが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E93～130
回答	平面図を正としてください。	
98.	駐車管制設備について、内訳書は仮設駐車場のみに記載されて、本庁舎の駐車管制設備については、内訳書に記載されていません。今回別途工事将来工事と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	E145～147, 184 ～186
回答	貴見のとおりです。	
99.	内訳書 STEP-1 構内配電線路 1、電力引込において、ハンドホール 1600x1600x1800 2 基 1600x1500x1800 1 基が記載されていますが新設ハンドホール 3 基 設けるのでしょうか、御指示ください。	E178
回答	新設ハンドホールを 3 基設けてください。	
100.	内訳書 STEP-1 構内通信線路 1、通信引込において、ハンドホール 900x900x900 2 基が記載されていますが、通信引込 STEP-1 図では、900x900x900 1 基 1600x1600x800 1 基のように思いますが、内訳書通りで宜しいでしょうか。御指示ください。	E180
回答	平面図を正としてください。	
101.	既設受変電設備の改修及び増設において、既設メーカーが分からない為、他メーカーでは、見積が出来ません。既設メーカーを御教示ください。	E182

回答	既設メーカーはセイリツ工業株式会社です。	
102.	市民会館改修に伴う、1F、2Fの配線ルート天井高さが分かりません。配線工事に高所足場は必要でしょうか、また、高さ何メートルの作業になるのでしょうか、御指示ください。	E183
回答	高所足場は不要です。各階の天井高さは1階 2700mm、2階 3000mm となります。	
103.	既設解体工事において、発電機の撤去が（窓口棟・中崎分署・分庁舎）ありますが、図面では詳細不明のため見積出来ません。メーカー立会の現場確認出来ないでしょうか。若しくは、既設業者・既設メーカーを御教示願えないでしょうか。御指示ください。	KE01～07
回答	本入札に係る現場確認期間は終了しているため、現場確認はできません。 各棟における発電機の既設メーカーは以下のとおりです。 ・本庁舎 : 西芝電機株式会社 ・中崎分署 : 株式会社クボタ（旧：久保田鉄工所） ・分庁舎 : 西芝電機株式会社	
104.	既設解体工事の機器撤去において、PCB含有機器は無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	KE01～07
回答	貴見のとおりです。	
105.	撤去解体工事において、大型機器の撤去に伴い、搬出困難な作業や、大型重機が必要になるような事は無いものと、考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	KE01～07
回答	貴見のとおりです。	
	以上	

土 質 柱 状 図

明石市役所庁舎前駐車場新築工事に伴う土質柱状図 (No. 1)

地盤調査

調査地 明石市

調査年月日 昭和 年 月 日 ~ 63年 2月 22日

標高 TP+2.69 M

孔内水位 -2.60 M

技術者 福山

標高	層厚	柱状図	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度	標準貫入試験										試験料		標高	
									深	N	100mm毎の打撃回数			N 値						室内土質試験		採取位置
											深	10	20	30	0	10	20	30	40			
1				淡黄灰埋土	水き混り砂主体。φ20%位の円れき混入する。有機物少量混入。			1.15 1.45	19/30	4	7	8										1
2				黄褐灰炭混り砂	粒径不均一な砂。含水大。	緩		2.15 2.45	23/30	8	8	7										2
3	-0.31	3.00	3.00	暗灰シルト混り砂	有機物のシルトを混入する。含水大。	極緩		3.15 3.45	7/30	2	2	3										3
4	-1.31	4.00	1.00	暗灰	細砂主体で粒径均一。	中		4.15 4.48	1/33													4
5	-2.11	4.80	0.80	暗灰	7.00m付近φ30%の円れき混入。貝殻細片混入する。	中		5.15 5.45	20/30	4	6	10										5
6				暗灰	亜角~亜円れき。φ20~30%の最大径。粒度分布良好。含水比大。	中		6.15 6.45	20/30	5	7	8										6
7				暗灰	硬質に固結しており、組成均質。含水比小。	極密		7.15 7.45	27/30	6	9	12										7
8	-5.81	8.50	3.70	暗灰	微細砂全体均等に混入。酸化鉄帯がある。	極密		8.15 8.45	25/30	6	8	11										8
9				茶褐砂	上部1.700m付近までは若干酸化され褐色を帯びる。細砂主体で少量の中砂混入する。密実で良く締っている。含水小。	極密		9.15 9.33	60/18	27	33	8										9
10				茶褐砂		極密		10.15 10.45	54/30	12	19	23										10
11				茶褐砂		極密		11.15 11.41	60/26	16	23	21	6									11
12	-9.71	12.40	3.90	茶褐砂		極密		12.15 12.35	60/20	27	33											12
13				青灰シルト		極密		13.15 13.45	34/30	8	12	14										13
14	-12.01	14.70	2.30	青灰シルト		極密		14.15 14.45	36/30	8	13	15										14
15	-13.11	15.80	1.10	褐灰砂質シルト		極密		15.15 15.45	48/30	8	17	23										15
16				褐灰砂質シルト		極密		16.15 16.45	59/30	12	20	27										16
17				暗青灰		極密		17.15 17.45	60/30	13	20	27										17
18				淡青灰		極密		18.15 18.45	58/30	13	18	27										18
19				淡青灰		極密		19.15 19.40	60/25	15	24	21	5									19
20	-17.56	20.25	4.45	淡青灰		極密		20.15 20.25	60/10													20
21																						21

(23)



明石市役所庁舎前駐車場新築工事に伴う土質柱状図 (No. 2)

地盤調査

調査地 明石市

調査年月日 昭和 年 月 日 ~ 63年 2月 25日

標高 TP+ 2.62 M

孔内水位 -2.60 M

技術者 福山

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	現 在 位 置 試 験 深 度 m	標 準 貫 入 試 験						試 料		標尺 m						
											深 度 m	N 値	100g 毎の 打撃回数				N 値						室内土質試験 試料 №	採取位置 標本	
													10	20	30	0	10	20		30	40	50			60
1				X			水混り砂主体。φ20mm位の円水混入する。			1.15 1.45	25/30	6	9	10					1						
2										2.15 2.45	19/30	5	6	8					2						
3	-0.38	3.00	3.00							3.15 3.45	5/30	2	1	2					3						
4							上部有機物を混入する。粒径不均一な砂主体。含水大。	緩		4.15 4.45	16/30	4	5	7					4						
5	-2.98	5.60	2.60					中		5.15 5.45	28/30	6	9	13					5						
6							細砂主体。粒径均一。含水大。			6.15 6.45	23/30	7	8	8					6						
7	-4.38	7.00	1.40							7.15 7.45	58/30	14	16	28					7						
8							重角~重円れき主体の少量の粘土も混入。粒度分布良好。	極密		8.15 8.25	60/10								8						
9	-5.38	8.00	2.00					密		9.15 9.45	45/30	4	17	24					9						
10							上部11.00m位迄まで細砂主体。下部粒径不均一な砂層。含水比大。	極密		10.15 10.45	57/30	15	19	23					10						
11								密		11.15 11.45	49/30	13	18	18					11						
12	-8.78	12.40	3.40					極密		12.15 12.45	53/30	14	19	20					12						
13							固結化しており縞状に褐色を混る。組成均質。	極密		13.15 13.45	35/30	8	10	17					13						
14	-11.98	14.60	2.20							14.15 14.45	38/30	8	12	18					14						
15	-12.78	15.40	0.60				微細砂全体に混入			15.15 15.45	40/30	7	8	25					15						
16							細砂主体で少量の中砂混入。			16.15 16.38	60/23	17	19	14					16						
17										17.15 17.35	60/20	23	37						17						
18							良く締まっている。含水小。	極密		18.15 18.35	60/21	23	32	5	1				18						
19										19.15 19.35	60/21	21	33	6	1				19						
20	-17.63	20.25	4.85							20.15 20.25	60/10								20						
21																			21						

明石市役所庁舎前駐車場新築工事に伴う

土質柱状図 (No. 3)

地盤調査

調査地 明石市

調査年月日 昭和 年 月 日 ~ 63 年 2 月 29 日

標高 TP + 2.82 M

孔内水位 -3.00 (止水極) M

技術者 福山

標高 m	層厚 m	柱状 図	色調	土質 名	観察	相対 密度	相対 稠度	現位置 試験深度 m	標準貫入試験										試験料		標高 m	
									深 度 m	N 値	100mm毎の 打撃回数			N 値						室内土 質試験 試験 深度 m		採取 位置 m
											10 0.3m	20 0.6m	30 0.9m	0	10	20	30	40	50			
1		X		淡黄灰土	水き混り砂主体 円れき実在する。 含水小。			1.15 1.45	13/30	4	4	5									1	
2	0.22	2.60						2.15 2.45	18/30	6	8	4									2	
3				黄緑灰 湿り砂	粒径不均一な砂 φ20%位の重円 れき混入する。 含水大。		緩	3.15 3.45	5/30	2	1	2									3	
4	-1.68	4.50						4.15 4.45	6/30	2	2	2									4	
5				青 灰 砂	上部 φ15%位の れき実在する。 下部均一な細砂 若干シルト分を含む 含水小。		中	5.15 5.45	21/30	6	7	8									5	
6								6.15 6.45	27/30	7	9	11									6	
7								7.15 7.45	22/30	7	3	12									7	
8	-5.18	8.00						8.15 8.45	39/30	10	13	16									8	
9				茶 褐 砂 礫	φ5~30%の重円 ~垂角れき主体 粘性土分を混え ており粒度分布 良好。 含水比大。		密	9.15 9.35	60/20	23	37										9	
10								10.15 10.33	60/18	32	28	8									10	
11	-8.98	11.80						11.15 11.25	60/10												11	
12	-9.68	12.50		茶 褐 砂	粒径不均一な砂。		極密	12.15 12.45	52/30	14	17	21									12	
13				青 灰 シルト	微細砂 所々に 挟む。 固結化しており 硬質。		極密	13.15 13.45	32/30	9	10	13									13	
14	-11.78	14.60						14.15 14.45	34/30	10	11	13									14	
15	-12.18	15.00		褐 細 砂	酸化鉄帯びる。		極密	15.15 15.45	37/30	10	13	14									15	
16	-12.68	15.50		褐 灰 シルト	固結化しており硬質。		極密	16.15 16.41	60/26	19	23	18	6								16	
17				黄 灰 砂	細砂主体。少量 の中砂混入する。 密実で良く締 っている。		極密	17.15 17.38	61/23	17	27	17	3								17	
18				黄緑灰				18.15 18.37	60/28	21	30	9	2								18	
19								19.15 19.35	60/20	25	35										19	
20	-17.50	20.32						20.15 20.32	60/17	28	7										20	
21																					21	

( 25 )

明石市役所庁舎前駐車場新築工事に伴う 土質柱状図 (No. 4)

地盤調査

調査地 明石市

調査年月日 昭和 年 月 日 ~ 63年 2月 22日

標高 TP+2.57 M

孔内水位 -2.56 M

技術者 上山

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	相 対 稠 度	相 対 密 度	現 在 置 試 験 深 度 m	標 準 貫 入 試 験										試 料		標尺 m		
											深 度 m	N 値	100mm 毎の 打撃回数			N 値						室内 土質 試験 試料 №		採取 位置 標本 №	
													10	20	30	0	10	20	30	40	50				60
1		0.77	1.80	1.80		埋 土	れき混り砂主体 φ40%位のれきが 混入する。 含水小。			1.15 1.45	7/30	1	3	3										1	
2							上部4.00m位まで φ10%位のれきが 混入する。	緩 中		2.15 2.45	9/30	3	3	3										2	
3						淡黄灰 礫混り砂	下部はφ30%位 の重円れき実在する。 粒径不均一な砂 が主体であり、下部 ではシルト分を混 入する。			3.15 3.45	18/30	6	7	5											3
4						暗 灰		中 密		4.15 4.45	15/30	5	4	6											4
5		-3.23	5.80	4.00						5.15 5.45	28/30	14	9	5											5
6							シルト分を全体的 に混入する。	密 極密		6.15 6.45	43/30	17	14	12											6
7						青 褐 シルト混り 砂 礫	φ20~30%の重 角~重円れき実在。 含水比中~大。			7.15 7.43	60/28	22	22	26	8										7
8								中 密		8.15 8.30	60/15	40	20	5											8
9		-5.33	8.90	3.10						9.15 9.45	29/30	7	10	12											9
10		-8.23	10.80	1.90		青 灰 シルト質砂	微細砂質であり 腐植物混入する。	中 密		10.15 10.45	33/30	9	11	13											10
11							固結しており硬質 組成の質で含水小。		極密		11.15 11.40	60/25	11	23	26	5									
12		-9.93	12.50	1.70		青 灰 シルト				12.15 12.42	60/27	10	18	32	7										
13							微細砂質であり 固結している。	極密		13.15 13.45	36/30	9	11	16											13
14						青 灰 砂質シルト	悪母片を混入する。 含水小。			14.15 14.45	36/30	9	12	16											
15		-13.33	15.90	3.40		暗青灰 淡青灰		極密		15.15 15.45	27/30	7	9	11											15
16										16.15 16.39	60/24	20	25	4											
17							細~中砂を主 体とし密実で 良く締まっている。	極密		17.15 17.42	60/27	18	25	7											17
18										18.15 18.35	60/20	28	32												
19									19.15 19.35	60/20	32	28													19
20		-17.85	20.42	4.52					20.15 20.42	60/27	14	22	24	7											20
21																									21

( 26 )

明石市役所庁舎前駐車場新築工事に伴う 土質柱状図 (No. 5)

地盤調査

調査地 明石市

調査年月日 昭和 年 月 日 ~ 63年2月25日

標高 T.P + 2.54 M

孔内水位 -2.44 M

技術者 上山

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	現 在 置 試 験 深 度 m	標 準 貫 入 試 験						試 料		標尺 m					
											深 度 m	N 値	10cm毎の 打撃回数			N 値						室内 土質 試験 試料 採取 位置	標 本 位置	
													10	20	30	0	10	20		30	40			50
1	-0.84	1.70	1.70	X	淡黄灰	埋 土	水混り砂主体、 φ20%位の円れき 混入。細れき多量 に混入。			1.15 1.45	23/30	8	7	8							1			
2				○	黄緑灰	礫混り砂	φ10%位の細れき 多量に混入。 粗砂主体。	中	極軟			2.15 2.45	21/30	8	8	5					2			
3	-1.06	3.00	0.60	○	暗 灰	砂質シルト	有機物混入する。					3.15 3.50	2/35	1	1	20	15				3			
4				○	暗 灰	砂	細砂主体で粒径 ほぼ均一。 5.00m付近φ30% 位の円れき混入する。 下部中砂主体。	中	密			4.15 4.45	20/30	5	7	8					4			
5				○	暗 灰	シルト混り 砂	φ5~30%の垂円 ~垂角れき主体。 粒度分布良好、含水分	中	密			5.15 5.45	27/30	9	8	10					5			
6	-4.06	6.60	3.00	○	茶 褐	シルト質砂	細砂主体、含水分大	中	密			6.15 6.45	41/30	10	11	20					6			
7	-5.46	8.00	1.40	○	青 灰	シルト質砂	微細砂質のシルト 含水分小、腐植物混入	中	密			7.15 7.45	48/30	12	15	21					7			
8	-6.16	8.70	0.70	○	青 灰	砂	微細砂。	中	密			8.15 8.45	39/30	8	11	20					8			
9	-7.26	9.80	1.10	○	青 灰	シルト	固結しており硬質。 組成均質。 含水分小。	中	密			9.15 9.45	32/30	7	10	15					9			
10	-7.61	10.15	0.35	○	青 灰	シルト	固結しており硬質。 組成均質。 含水分小。	中	密			10.15 10.45	34/30	8	11	15					10			
11	-9.96	12.50	2.35	○	青 灰	シルト	固結しており硬質。 組成均質。 含水分小。	中	密			11.15 11.43	60/28	13	15	32	8				11			
12				○	暗青灰	砂質シルト	固結しており硬質。 全般に微細砂質 含水分小。	中	密			12.15 12.45	60/30	12	29	19					12			
13	-12.51	15.05	2.55	○	青 褐	シルト質砂	微細砂主体。	中	密			13.15 13.45	32/30	8	10	14					13			
14	-13.16	15.70	0.65	○	青 褐	シルト質砂	微細砂主体。	中	密			14.15 14.45	33/30	10	9	14					14			
15				○	黄緑灰	砂	細~中砂主体。 密実で良く締 ている。 含水分小。	中	密			15.15 15.45	29/30	8	7	14					15			
16				○	黄緑灰	砂	細~中砂主体。 密実で良く締 ている。 含水分小。	中	密			16.15 16.45	51/30	14	15	22					16			
17				○	黄緑灰	砂	細~中砂主体。 密実で良く締 ている。 含水分小。	中	密			17.15 17.45	53/30	13	15	25					17			
18				○	黄緑灰	砂	細~中砂主体。 密実で良く締 ている。 含水分小。	中	密			18.15 18.42	60/27	18	21	21	7				18			
19				○	黄緑灰	砂	細~中砂主体。 密実で良く締 ている。 含水分小。	中	密			19.15 19.40	60/25	19	22	19	5				19			
20	-17.84	20.38	4.68	○	黄緑灰	砂	細~中砂主体。 密実で良く締 ている。 含水分小。	中	密			20.15 20.38	60/23	22	28	10	3				20			
21																					21			

( 27 )

明石市役所庁舎前駐車場新築工事に伴う 土質柱状図 (No. 6)

地盤調査

調査地 明石市

調査年月日 昭和 年 月 日 ~ 63年 2月 29日

標高 TP+2.54 M

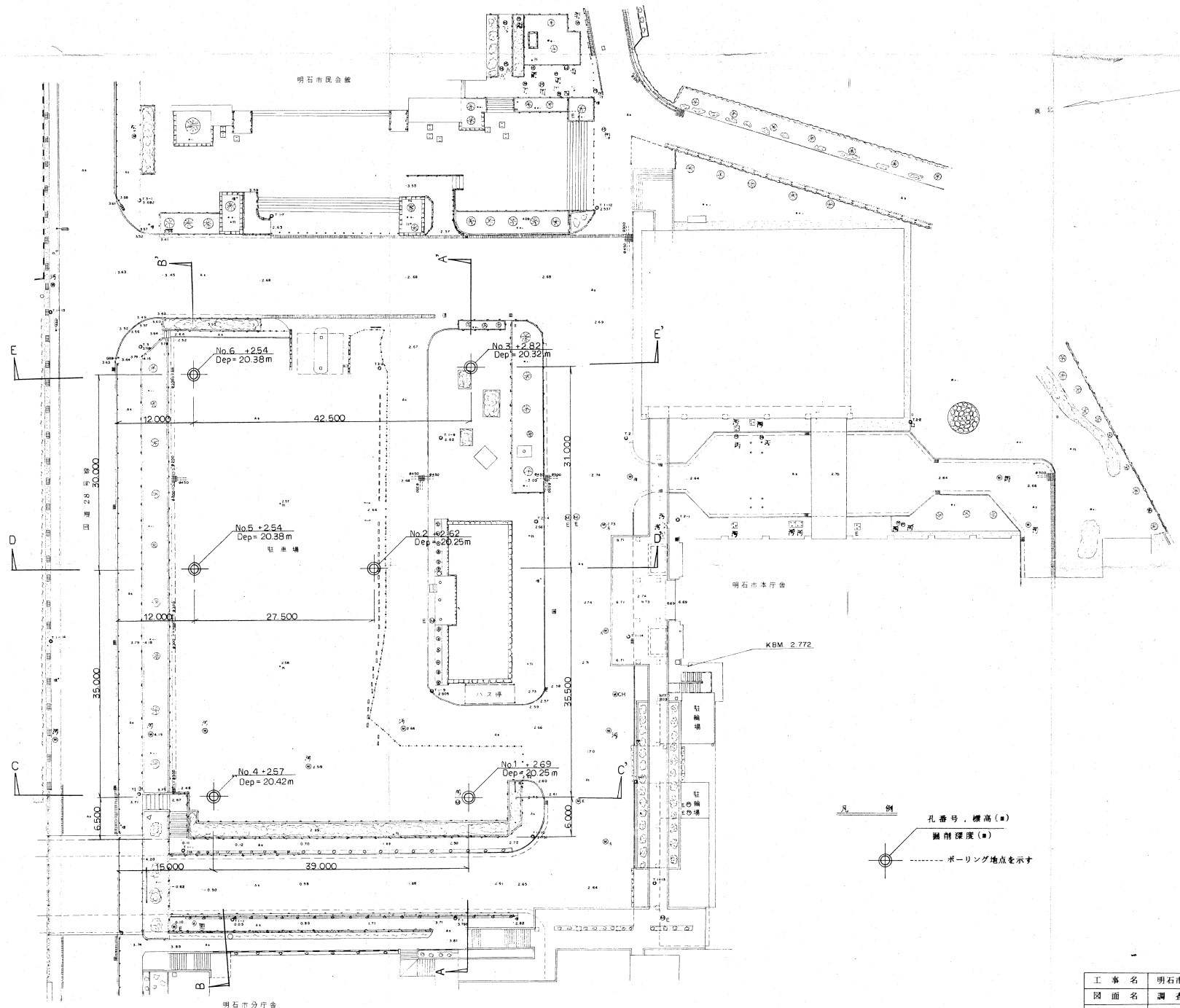
孔内水位 -2.52(含水層)M

技術者 上山

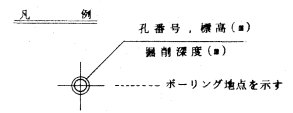
標尺	標高	深	層厚	柱状	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度	標準貫入試験						試験		標尺					
											深	N	100mmの打撃回数			N 値						室内土質試験	採取位置	
													度	値	10	20	30	0		10	20			30
1	1.54	1.00	1.00		淡黄灰	埋土	水混り砂主体 約20%位の水混入。				1.15	21/30	6	7	8						1			
2					黄緑灰	硬泥り砂	約5~20%の重円 水混入する。 粒径不均一な砂。	中	絞		2.15	18/30	5	6	7						2			
3											3.15	8/30	3	2	3						3			
4	-1.16	3.70	2.70		緑灰	シルト質砂	細砂主体 含水大。		中		4.15	4/30	2	2							4			
	-1.61	4.15	0.45		緑灰	砂質シルト	細砂全般に混入。 含水大。				4.45		15	15							4			
5	-2.26	4.80	0.65				細~中砂主体				5.15	30/30	9	10	11						5			
6					暗灰	砂	貝殻片混入する。	密			6.15	36/30	9	12	15							6		
	-4.01	6.55	1.75								7.15	60/23	20	30	10						7			
7					暗青灰	シルト混り砂	細粒分混入する。				7.38											7		
8					茶	粘	約5~30%位の 重角~重円れき 主体。	極密			8.15	60/9										8		
9							含水大。				9.15	60/16	32	28	6							9		
10	-7.56	10.10	3.55		青灰	砂質シルト	固結しており 粗及均質。	堅			10.15	28/30	6	9	13							10		
							微細砂に近。	極堅			11.15	51/30	13	17	21							11		
12											12.15	46/30	10	16	20							12		
	-10.16	12.70	2.60		暗灰	粘りシルト	所々に微細砂 質あり 酸化 鉄も帯びる。	極堅			13.15	32/30	9	11	12							13		
14					暗	粘					14.15	31/30	9	10	12							14		
15							含水小。	堅			15.15	21/30	6	7	8							15		
16	-13.61	16.15	3.45		青	粘		中			16.15	22/30	6	7	9							16		
							全般的にシルトを 混入する。微細 砂主体 含水小。	極密			17.15	60/25	15	22	23	5						17		
18	-15.16	17.70	1.55								18.15	60/19	28	32	5							18		
19					黄緑灰	砂	細~中砂主体 密実で良く締 っている。	極密			19.15	60/15	30	30	5							19		
20	-17.84	20.38	2.58				含水中。				20.15	60/23	23	27	10							20		
21											20.38											21		

(28)

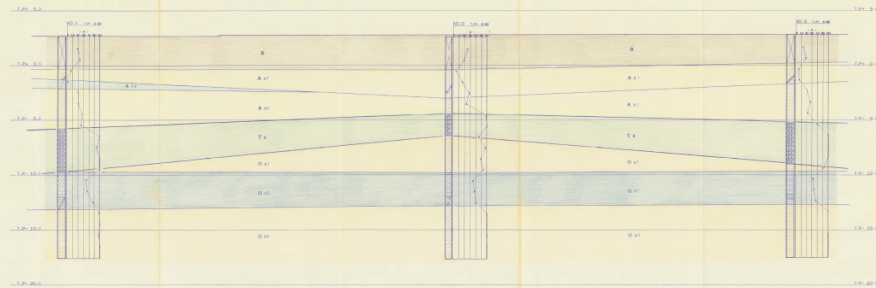
調査地点位置図及び土質推定断面図



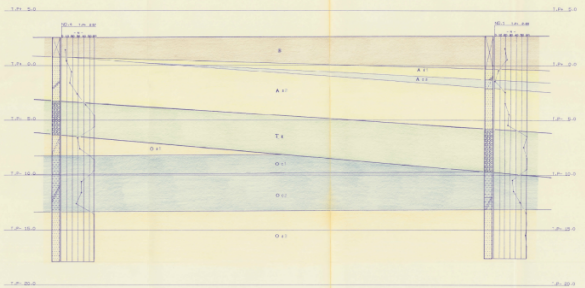
東北測定年月日時  
 昭和63年2月19日  
 12時13分57秒



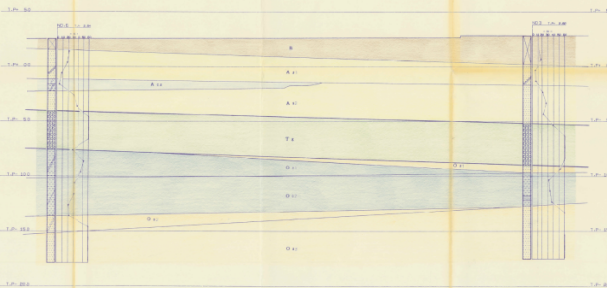
工事名	明石市役所庁舎前駐車場新築工事		
図面名	調査地点位置図		
縮尺	S=1:300	図面番号	2葉の内1
年月	昭和63年3月		



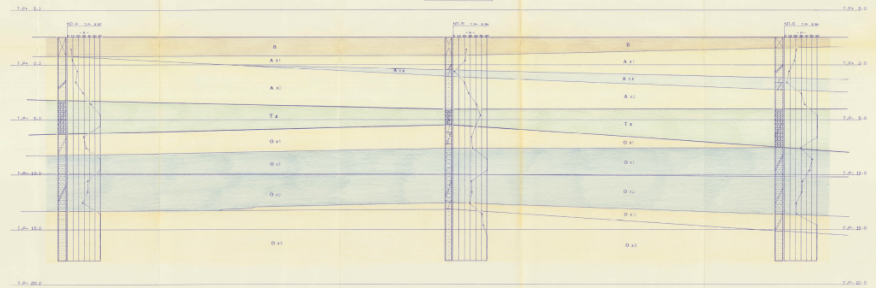
A-A' 100



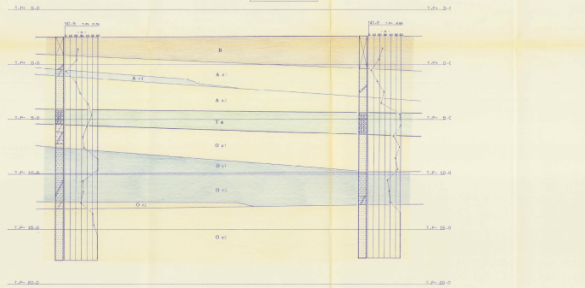
C-C' 100



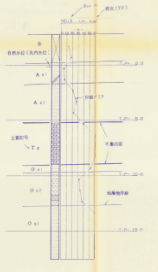
E-E' 100



B-B' 100



D-D' 100



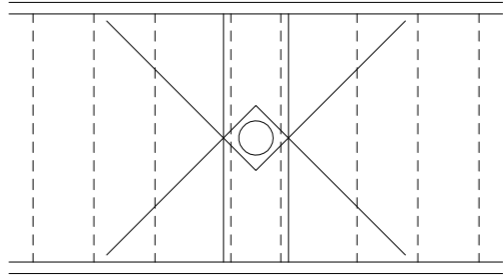
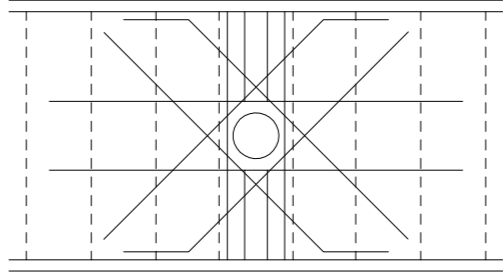
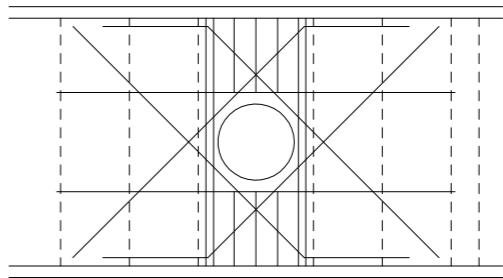

凡例

階別区分	地層記号	地層名	記号
外層部	R	母土層	シキリ砂(粘砂)主層, N = 7-25
	A-1	第一粘土層	シキリ砂(粘砂)主層, N = 5-23
	A-2	第二粘土層	粘り土層, N = 1-5
砂土層	T-1	砂土層	粘り土層, N = 20-41
	T-2	砂土層	粘り土層, N = 43-63
砂質土層	O-1	第一粘土層	粘り土層, N = 25-52
	O-2	第二粘土層	粘り土層, N = 41-53
	O-3	第三粘土層	粘り土層, N = 51-63

1:100  
 1:200  
 1:500  
 1:1000  
 1:2000  
 1:5000  
 1:10000



表7.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				
H8	4-2-D25	4-2-D16	2-2-D16	3-2-D13	
H9	4-2-D29				
H18	12-2-D32	12-2-D29	2-2-D19	3-2-D13	

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。